

2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [牛久市立おくの義務教育学校] 担当教諭名 [澤田 将生] (6年1組 40名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Wen Ya Elementary School] 担当教諭名 [Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
		総合的な学習の時間	おくの未来予想図

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Baton of Happiness to the Future World (未来の世界への幸せのバトン)
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	現在、世界が抱える問題には安全な水が行き届かなかったり、飢餓に苦しんだりすることがある。それらを解決し、世界中の人々が安心して安全な生活を送るために、健やかな未来の世界のために、バトンをつなげたい。日本から台湾へ、そして世界へ。世界中が未来の自分たちのために思いをつなげることを込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 台湾との交流で、外国への興味関心が高まった。 SDGsを学習することで、世界が抱える諸問題を具体的かつ身近に考えることができた。 台湾の素晴らしいエコ活動を教えてもらうことで、自分たちでも実現可能な活動について考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流の際に、質問等を考える児童に偏りが見られた。関心の温度差を解消する手立てが必要。 オンライン交流の際に、地域の方に通訳をお願いした。次年度以降、継続可能かどうかが必要検討。 小学6年生の英語レベルでは、交流が難しい。フォローするための時間取りにくい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 水と飢餓に関しては、特に水問題を知ることで、いかに日本が恵まれた国なのかを再認識することができた。 飢餓について学習する際に、児童労働について関心を抱く児童が多かった。 自分たちに何ができるのか、世界の問題を自分事として捉えられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの授業について、どのような教材がふさわしいのか、研究することができた。 外国との交流が今後、教育活動において比重が高まることが予想されるので、各関係機関との折衝などを学ぶ良い機会となった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	4月 ～ 6月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾について調べ学習 SDGsについての学習 国内の水や飢餓に関する学習 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾文化について興味がわいた。 SDGsの理解を深めることができた。 国内や市内の水道事情について考えられた。 	総合35
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿やポスターの作成 英訳 英語にカタカナをふる作業 発表練習 	<ul style="list-style-type: none"> 訳はPCで翻訳機能やサイトを使用し、作成。音読に困難さが見られた。 交流の際に、聞き取りづらかったり、タイムラグが発生したりした。 	総合20
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画に込めるメッセージの検討 タイトルのすり合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した内容や、今後の自分たちで実現したい未来について活発な議論を重ねることができた。 	総合10
創造 壁画制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> リーダーの指示のもと、班ごとに分かれて壁画の制作 	<ul style="list-style-type: none"> 中心となる児童が、うまく周囲に指示をすることで、意欲的な児童だけでなく、作画が苦手な児童も一生懸命取り組むことができた。 	総合10
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	<ul style="list-style-type: none"> 水や飢餓に関する問題を学校レベルで解決策を考案 1年間の活動の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> 募金活動やバザー、LINEスタンプなど多種多様かつ実現可能な案が生まれ、問題解決への意欲が高まった。 	総合15

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	台湾の調べ学習では文化の違いを友好的かつ探求的に捉える姿勢が見られた。特にオンラインや、フォーラム交流において台湾の活動や取り組みを高く評価する児童が多かったため。
主体的に考え行動する力	4	壁画のデザインを考案するときに、細部までメッセージの表現にこだわり、検討する姿が見られたため。作成も、他力本願な部分はなく、主体的に活動することが多かった。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	台湾の取り組みについて「いいね、すごいね」で終わることなく、どのようにしたら日本でも、本校でも実現できるかについて考えらえる児童が多かったため。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	オンライン対話では、もっと相手と話したいと対話の延長を求める児童が多かったため。さらにフォーラムを紹介すると毎回、興味深い反応が返ってくるため、意欲関心の向上をととも感じられた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	デザインを考案、作成した児童だけでなく、それを全員で表現しようと丁寧かつ自主的に取り組む一体感があったため。特別活動の観点からも非常に効果的な活動であったと考えられる。